

# 令和4年度 第1回平塚市地域公共交通活性化協議会

## 1 日 時

令和4年8月23日（火）午後2：00～午後3：20

## 2 場 所

平塚市役所本館720会議室（1）（2）

## 3 出席者

### ○ 委 員

石黒委員、山本委員、佐藤委員、井上委員、三浦委員、加倉井委員、  
武井委員（代理 小川氏）、臼居委員、鳥海委員、松下委員、小林委員、  
高橋委員、田中委員、梶田委員、後藤委員、最上委員（代理 山口氏）

### ○ 事務局

協交通政策担当部長、森交通政策課長、交通政策課 長谷川課長代理  
ほか担当2名、  
福祉総務課 西山課長代理

## 4 会議の成立

平塚市地域公共交通活性化協議会規約第6条第2項に基づき、委員の過半数の出席により成立

## 5 傍聴者

0名

## 6 議 題

- （1）平塚市地域公共交通網形成計画に基づく施策の実施状況について
- （2）その他

## 7 議事録

次ページ以降に記載のとおり

○ 議事録

会長	地域公共交通網形成計画の取組状況を事務局から報告いただき、議論していただきたいと思います。まずは、議題の1で、「平塚市地域公共交通網形成計画に基づく施策の実施状況」について、事務局から説明をお願いします。
事務局	(資料1、1-1、1-2、1-3について事務局から説明)
会長	事務局からの説明に、質問、意見等ある方はお願いします。
委員	「資料1-1 鉄道の利便性向上に向けた取組」について、私も神奈川県ホームページを拝見しました。鉄道事業者からの回答を見ると、対応が厳しいものが大部分だと思います。これらの要望は具体的に実現できる見通しをもって書かれているのでしょうか、もう少し確実にできるような内容に範囲を広げて、要望書を作った方が良いのではないかという気がしましたが、その点いかがでしょうか。
事務局	こちらについては、毎年度、神奈川県と一体となって要望しています。鉄道の利便性向上を図る上で、必要なものは継続して要望していきたいと考えておりますが、仰るとおり、鉄道事業者からの回答の中では、現実的には難しいという回答もありますので、本市を含め、部会内でも内容を調整して、それでも必要であれば継続して要望していくという判断になるかと考えています。
委員	県事業のため、平塚市単独では考えられないということは重々承知です。広範囲に広がることですので、合意をとって進めるのは難しいと思いますが、県全体で考えることと平塚市単独で考えることがあれば、この枠組みの外で進めて良いのではないかと思います。
事務局	平塚市としても必要なものは、まず部会に上げていきながら、正式に要望するか検討していきたいと思います。
会長	鉄道に関して、委員から何か御意見ありますでしょうか。
委員	御要望にお応えするのが厳しい内容が多く、毎年、厳しいということをお伝えするような回答になってしまい、その点で大変心苦しい面があります。ソフト面でも、快速電車の停車などは非常に難しい問題があり、一方で駅を飛ばせば、飛ばされた駅は停車してほしいといった繰り返しのようなところがありますので、利用状況を見ながら、検討して決めているというのが実情です。平塚駅は、概ねのバリアフリー設備の整備は終わっていますが、今後ホームドアの整備等もまだ時間はかかりますが、整備していこうと考えて

	<p>おりますので、温かく見守っていただけたらと思います。</p> <p>鉄道事業についてですが、コロナの影響もあり、非常に厳しい情勢です。今年度に入ってから持ち直し、夏前ぐらいにはコロナ前の水準に比べて、85%くらいまで戻ってきたところですが、7月8月に感染が拡大して、少し落ちてきているというのが実情です。</p> <p>一方で、コロナ禍によって働き方などが変わった面もあり、特に定期を御利用の方が、コロナ前の状況に戻らないような動きをしています。テレワークなど働き方が変わりつつあって、特に平塚市は、例えば週3回くらい東京の会社に出社するような方が住まわれる環境としては、非常に良い環境だということをお聞きしています。横浜以西の地域については、人口がコロナ禍以降、少し増えているというようなお話も聞いています。様々な面が変わってきているので、鉄道事業者としてもうまく対応しながら、運営していきたいと考えています。</p> <p>要望に対して、応えられていない面が非常に多いですが、御理解を賜りながら、利用状況に合わせたサービス改善をしてみたいと考えておりますので、よろしくお願いします。</p>
会長	<p>今後、東海道線も藤沢に新駅ができるなどの動きもあります。また、生活様式も変わってきているので、居住等の関係も含めて進めていければと思います。</p> <p>東海大学の路線バスの急行便について、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>急行便については、東海大学から要望を受けて、協議した中で路線開設に至りました。現在、東海大学の夏休みに合わせて需要が落ちることから運休としていますが、直近の6月から7月の利用では、1便目2便目の東海大学方面、2便目3便目の平塚駅方面の利用に関しては、20人～30人が利用している便もありました。ただ、1便目や4便目については、利用が伸びてないという実情もあります。</p> <p>現行の東海大学前駅のロータリーの形状として、バース数、バスの番線や乗り場の数が足りない、待機場所がない、また、ロータリー内を転回できないといった課題があるため、現在の本数以上のバスを運行させると運用上苦しくなってしまう、現状の便数以上は入れない状態となっています。そこに關しては、平塚市のほか、秦野市とも乗り場を増やせないか、違う路線を検討できないかなど協議を進めているところです。</p>
会長	<p>神奈川大学移転にも関連しますが、学生はあまり定期券を使っていない感じでしょうか。東海大学の学生もコロナ禍になってから、定期券を持たない学生が増えているようです。</p>
委員	<p>定期券の割合までは把握できておりませんが、弊社ではODデータと言って定期券、ICや現金など、運賃箱で操作したデータが残っておりますので、その利用を見ながら、神奈川大学で利用している方を除いた人数を今回</p>

	<p>提示しました。</p> <p>そのため、定期券利用の有無よりも、神奈川大学の2バス停を除いたバス停の利用状況が一桁台前半しかないというところで、維持も厳しいので御利用くださいとお願いしながら、どう維持していきましょうかというところを地区の方と協議をしています。</p>
会長	<p>地区の方々の雰囲気はいかがでしたか。</p>
委員	<p>免許返納など、先々を考えた中では、心配する御意見がありました。</p> <p>今回、現状を知っていただくために利用状況を提示しましたが、思ったより利用が少ないという反応があったので、路線を守るという意味でも地区としてしっかり利用していただき、双方で路線を維持できるような関係が築いていければと考えています。</p>
委員	<p>ツインシティ大神地区について質問です。私は平自連（平塚市自治会連絡協議会）の役員ですが、田村地区の連合会長も務めております。隣の地区が大神地区ということで非常に関心は高いです。私も時々大神地区を回りながら、倉庫が出来ているな、いよいよイオンが建設され始めているなどという状況を見ているのですが、交通アクセスをどうするのかと感じます。</p> <p>資料では、新たな公共交通の導入、新道と旧道の接点をどうやって作っていくかと書かれていますが、元々、国道129号線は交通量が非常に多いです。付近には、田村十字路とあって、藤沢へ抜ける道路も抱えていますので、交通量は非常に多いし、橋も足りないといった状況の中で、新たに公共交通をどのような形で導入していくのか。新たな公共交通を導入するとなると、田村地区も当然、色々な影響を受ける可能性を持っています。我々としてみれば、早めに、どういったアクセスを考えているのか知りたいです。</p> <p>連節バスが運行するという噂も聞きますが、見通しが立っていないとも聞いています。また、田村9丁目には、給食センターもできると聞いていますので、輸送量がさらに増えていく中で、交通量の問題をどうやって解決していくか、調整が非常に難しいのではないかと思います。見通しをお聞かせいただけたらと思います。</p>
事務局	<p>網計画の中では、平塚駅、ツインシティ大神地区内にできるトランジットセンター、本厚木駅を結ぶこの南北都市軸の確立が記載されています。</p> <p>まずは、この南北都市軸をツインシティのまちづくりに合わせて、進めていきたいと考えています。併せて、旧道からのバスの便数は、現状でかなり多いですが、こちらもトランジットセンターに入り込めるように、関係部署と協議をしている状況です。</p> <p>先ほど委員からお話のあった、129号線の渋滞についてですが、次の展開として、交通管理者とも今後協議が必要になってくると考えていますが、PTPSと言って、車両と信号機を連動させて、公共交通は赤信号で止まらないようにうまく流す仕組みも、日本全国で始まっているところがありますの</p>

	<p>で、そういった技術の導入も視野に入れながら、この南北都市軸を確立していきたいと考えています。</p> <p>この南北都市軸の確立については、令和5年春を一つの目標としていますが、間に合わない部分もあります。連節バスについては、当初は導入を検討しておりましたが、バス事業者と協議をしていく中で、コロナ禍の影響で需要予測として、連節バスを導入するほどの乗客が見込まれないのではないかとこの部分があり、現在も検討中ということになります。</p>
委員	<p>折角、新たにまちづくりしたけれども、住民から苦情が出ることだけは避けていただきたい。そういう意味では、早めに住民の方に対して、見える化することが重要かと思っておりますので、よろしくをお願いします。</p>
会長	<p>ツインシティは非常に重要で、都市マスタープランにも南北軸は重要な路線として記載しております。整備も進んできており、様々な形でソフト施策を実施していこうというところですので、ぜひ進めていただければと思います。</p>
委員	<p>免許返納について、老人クラブ連合会ではお年寄りを多く抱えています。年々、免許返納する方も増えてきており、免許を返納された際に、もう少し返納された方に利点がないかなと考えています。お年寄りの中には、免許を返納しても何もないじゃないかと考える方もいると思います。</p> <p>1万円支払うと、バス事業者でどこまで走っても100円というサービスがありますが、それも市外へ走った場合、それでも100円なのかというと、それは制限があるかと思いますが、平塚市内という認識でよかったですでしょうか。</p>
委員	<p>年間でパスを買っていただくと、1乗車100円という扱いになります。</p>
委員	<p>免許返納した人は、その際に何も利点がないわけです。もう少し免許返納に対して、こうした利点がありますよというところを市の広報紙などで周知すれば、助かるかなと思います。</p> <p>家族から免許を返せと言われていたり、息子からもお父さんいい加減に返納しなよと責められているから、免許を返そうかなというお年寄りも多くいます。そういう方々が、免許を返して少し地域から離れたところに住んでいると、買い物が不便で、市のコミュニティバスを利用したいといった結果に繋がるわけです。</p> <p>そうしたところを市としても、免許返納者に対する恩恵というか、考えていただけたらありがたいなと思います。</p>
事務局	<p>網計画の資料1の裏面にも掲載されておりますが、「(4) 自家用車依存からの転換と公共交通の利用促進」というところで、具体的施策内容として、高齢者の免許返納促進を施策としても掲げています。</p>

	<p>しかしながら、免許返納された方にインセンティブを与えるといったことは、現在福祉部署とも協議をしながら、どういう施策がいいのかというところを検討してる最中ですが、引き続き、この施策の実現に向けて検討していきたいと考えています。</p>
委員	<p>新聞を見てもテレビを見ても、ニュースでそういう事故が多いために、免許も70代8代になってきて、気持ちの上では返納したい気持ちがありますが、なかなか現実的には返せないという事情もあるので、免許を返した時に、市で返納した場合にはこういったものがあるよと見えてくれば、事故も少なくなってくるのではないかと思います。その辺も考えていただけたら、ありがたいです。</p>
会長	<p>引き続き検討ということで進めていきたいと考えています。貴重な意見をありがとうございます。需要が多いということであれば、その辺の調査も含めて検討いただければと思います。</p>
委員	<p>お年寄りには、免許返納に前向きだと思いますので、よろしく願います。</p>
会長	<p>城島・岡崎・金目・豊田の地域説明会で、どれぐらいの参加者がいたのか。また、どのような働きかけをしたのか教えていただければと思います。</p>
事務局	<p>いきなり一般の市民の方を集めても、具体的な部分が分かりづらいと考え、まずは地域の実情に詳しい地区の自治会長が集まる定例会にお邪魔させていただき、手引きの説明をしました。</p> <p>資料タイトルにも書かれているように、公共交通の利用促進を柱としておりますので、既存の公共交通を利用することを大前提に考えて欲しいと説明しています。ある程度バス路線がしっかり通っていて、本数も多いところは、公共交通に関してそれほど不便さを感じていないところがあります。地区によっても特徴があり、例えば、岡崎地区では丘に挟まれた谷戸にバス路線が走っています。バスの便はしっかりあるけれども、バス路線にたどり着くまでの坂道が、高齢者にとっては行きづらいというところで、説明会の後、地域で考えたいということで相談をいただいております。</p> <p>城島地区に関しては、そもそもバスの便が少なく、地域にコンビニエンスストアもないような状況なので、買い物には不便だなという意見がありました。</p> <p>まずは、こういう資料があるということを知り、地域の中で声が上がった時に、市の方に御連絡いただき、次の展開を考えましょうということで、今はそれぞれ地域の特徴を伺っている状況です。</p>
会長	<p>手引き自体について、分かりにくいとかこうした方が良いのではないかといった意見はありますか。</p>

事務局	<p>手引きの内容について、分かりにくいという意見はありませんでした。</p> <p>デマンド交通やコミュニティ交通など、色々と手法はあるのですが、地区によっては、うちの地区にはコミュニティバスは馴染まないという思いを持っている方もいます。また、コミュニティバスを走らせるには、既存のバス路線と競合するようなところは避ける必要があること、その地域での需要も必要になってくることなどを理解されている地域の方々もいらっしゃいました。</p>
会長	<p>色々な地域特性を見ながら、自治会長レベルではなく、市民の声もあると思いますので、そういった声をどう引き上げるか、検討しながら進めていただければと思います。</p> <p>地域内移送について、旭南地区はまだテストだと思いますが、今後どのように進んでいくのか、見通しなどはありますか。</p>
事務局	<p>一昨年実施したアンケートの中で、需要そのものが少なかったという結果が出ており、先日、地域でお話をさせていただいた中では、地域で必要性をあまり感じていない、リスクが多い活動になるため、住民主体で実施することが難しいのではないかという意見が多くありました。</p> <p>地域の中の助け合いや支援を通じた地域づくりや絆作りといったところも重要だと思いますので、その部分をお話させていただきたいと思っています。</p> <p>今後も地域の中で必要性について話していきたいと思いますが、少し時間がかかるのかなという見通しです。実際に運行されている方と話をする機会もありますが、少しずつ体制を整えて、地域の中で理解を得ながら進めたいという意向です。</p>
会長	<p>地区の範囲が大きいので、バス路線があるところとないところの濃淡もあります。ニーズを引き上げながら、補完という立場で、ぜひ進めていただければと思います。須賀新田などは活発に活動していると聞いておりますが、財政負担部分については、保険などになるのでしょうか。</p>
事務局	<p>保険や消耗品、安全運転者講習の費用負担といった部分を補助金とさせていただきます。</p>
会長	<p>社会福祉協議会の方から車両の提供などの支援があると聞きますが、その辺りはいかがでしょうか。</p>
委員	<p>地区の社会福祉協議会（地区社協）が主体となって活動しているケースもありますが、地区社協自体も自治会やボランティアの方々など、地域の住民が集まり組織された団体です。</p> <p>このため、車両提供の支援など、地区社協が独自で活動することは、なか</p>

	<p>なか難しい状況にあります。</p> <p>このような中、岡崎地区社協の取組として、日頃から交流がある地区内の老人ホームに対し、デイサービスの移送がない時間帯に、岡崎地区社協主催の敬老祝賀会会場への一部参加者の移送をお願いするなど、地元の福祉施設と連携した取組も行われています。</p> <p>市全体の地区社協の会長会議でも、地区社協主催事業での参加者の送迎や、日常生活での通院や買い物などの支援について、意見交換がなされていますが、車両の確保、担い手や保険対応など課題があるとのことでした。</p>
委員	<p>資料1の項目として4年度の取組が記載されていますが、最終目標が何で、いつ実現するのかということがないと、計画として曖昧になってしまうと思います。それをもう少し明確にさせていただきたいなど前回の書面会議時に要望しました。回答をいただいておりますが、中々難しいという話は聞いておりますが、少し検討いただければと思います。</p>
事務局	<p>施策を実現する上で、この施策はいつまでにと目標を立てることが理想的ですので、見える化できるように調整を図りながら、検討していきたいと思っております。現状では、いつまでにとという提示が出来ないのが心苦しいのですが、努力していきたいと思っております。</p>
会長	<p>P D C Aは計画を進めていく上で非常に重要ですので、ぜひゴールを目指しながら、難しい点もあると思っておりますが、着実に進むように、進めていただければと思います。最近の交通事故等について、情報をお持ちであれば、お話を伺えますでしょうか。</p>
委員	<p>折角の機会ですので、事故の状況をお知らせしたいと思っております。</p> <p>平塚市内の事故は多いと、共通認識をお持ちなのかと思っておりますが、その認識の通りです。昨日までの事故のうち、一つの交通安全の指数として、怪我のある事故は、どれくらい発生しているのかという指数があります。今年の1月1日から昨日8月22日までで、平塚市内で563件の交通事故が発生しています。神奈川県内54警察署あって、警察署管内ごとに交通事故統計を取っていますが、現在ワースト一位という状況です。最も事故が発生しているのが、平塚警察署管内ということになります。</p> <p>その中で、我々の方で一番懸念しているのが自転車の事故、高齢者の事故になります。自転車事故については、563件のうち、218件です。また、高齢者の事故が207件ということで、同じく4割程度の事故が発生しています。高齢者の方が自転車に乗った場合は、ダブルカウントになっています。自転車の事故は、平塚署が218件と申し上げましたが、ワースト二位が大和警察署で、そこが157件のため、約60件近く差がある状況です。高齢者の事故についても、200件を超えているのは平塚警察署のみといった状況で非常に事故の多発が問題となっております。</p> <p>先ほど高齢者の免許のお話がありましたけれども、平塚市内の高齢者の免</p>



	<p>許について、どのくらいの方が持っているのかというと、全体の免許を持っている方の22.6%が65歳以上の方の免許保有ということになっております。約5人に1人ぐらいが65歳以上の免許です。自主返納をされて、もう運転は結構ですという形で手を挙げて、免許を返納する方も最近は多くなっております。その際に、平塚市内の道路の特徴かもしれませんが、車を降りた後の交通をどうしようかということで、自転車を選ばれる方が多くて、その結果、自転車事故も多発しています。高齢者の方の自転車事故の多くは、自過失転倒とって、運転操作を誤って転んでしまった、或いは狭い歩道上を走って段差から落ちて怪我をしたといった状況です。見通しの悪い十字路の交差点などで、一時停止を守らないで交差点に侵入したなどといった事故も大変多くなっています。</p> <p>サイクル&amp;バスライドなど、新しい様々な施策に賛成ではありますけれども、交通事故はその先に待ち構えているという観点で、検討を進めていただくと非常に助かります。平塚駅に行くために、横内の方から高齢者の方が自転車を漕いでいって事故を起こしたり、遠方からわざわざ自転車を漕いできて大きな事故を起こしている方もいます。統計上には出ておりませんが、先月も高齢者の方で、自転車を運転中に後方から乗用車に追突されて、しばらく療養していたのですが、亡くなってしまうという事故が発生しておりますので、新しい交通の検討をする際には、交通管理者である警察の方ともよく連携いただいた上で、より良い住みよい、まちづくりのお手伝いをさせていただきたいと思っていますので、よろしくお願ひします。</p>
会長	<p>かなり交通事故は多いのかなと思います。先ほどの免許返納も含めて、どのように進めていくか。サイクル&amp;バスライドは郊外のところで適地を選定していると思いますので、道路線形も含めて、事故のないような形で進めていただければと思います。</p>
委員	<p>警察の方の話に関連するのですが、自転車の事故が多いことは、私も承知しているところで、自転車を運転する方が、信号機を守らずに通りましたといったことが多いのですが、市、学校、教育委員会などで自転車の乗り方についても一度教育していただきたいと思っています。</p> <p>自転車は軽車両ですので、自動車と同じように乗る、歩道では走らないといった基本的なことをお子さんなど小さいうちから教育をしていかないと、無理な運転をするお年寄りがたくさん出てくるという部分もあります。</p> <p>どれだけ歩道にラインを引いて、ここを走りなさいと言っても、守らない人もいますので、自転車もしっかりその辺のルールを守る大人を作っていかないと、歩行者信号が青でも、その信号機が赤ならば、通ってはいけません。そういった当たり前のルールを守っていかないと、どれだけ車が注意をしても、ぶつかってしまう。</p> <p>逆に言うと、どれだけ歩行者が注意しても、自転車がぶつかってくる。ということになってしまいますので、その自転車の乗り方教育を、もう一度、教育をしっかりしていただいた方が良いと思います。最近はずごく良い自転</p>

事務局	<p>車も増えて、スピードの出る自転車もたくさんありますので、対策いただきたいなと思います。最近、高速で走る自転車を見て怖い思いをしていますので、もう少し考えていただければありがたいなと思います。</p> <p>本市では、交通安全指導員という嘱託員が2名おり、幼稚園、保育園、小学校で年間通じて交通安全教室を実施しています。警察でも、別途実施している事業があります。中学生や高校生に関しても、学校に出向いて、登校中の学生にチラシを配って、こんな事故が増えていますよ、一時停止をしっかりとくださいねなど、注意喚起するような交通安全キャンペーンも毎年実施しています。</p> <p>高齢者の方々に対して、PRが中々できてないと思っていますので、公民館の事業として、高齢者の方が集まるような機会に交通安全教室ができますというチラシをお配りして、高齢者の方に対しても交通安全について普及啓発を図っています。自転車のルールは分かりづらくて、例えば、市役所前の歩車分離の交差点がありますが、車道を自転車が走ってくれば、そのまま車の信号に従って青で進めます。しかし、間違えて歩道から車道の方に出てきて、自転車は車両なのだからということで、走る方もいらっしやいます。歩道からは、歩道の信号に従わなければいけないとか、少し難しいところもあるので、そこら辺もYouTube動画を作って、SNS、Line、フェイスブックなどを通じて、交通安全について広めている最中です。</p>
会長	<p>他都市では、自転車通行空間の整備後に自転車ルールの街頭指導を行っている事例もありますので、ぜひYouTube等も使って、広報して進めていただければと思います。最近、電動キックボードなんかも多いと聞きますが、その辺りはいかがですか。</p>
事務局	<p>都内では、実証実験としてループという会社が、特例としてやっておりますが、平塚市内ではまだそのような取組はありません。</p>
委員	<p>電動キックボードについて、皆様がイメージされるキックボードはお遊び感覚のキックボードかもしれませんが、道路交通法で決められた車両となります。原動機付自転車になります。排気量によって、50ccの原付の免許、125ccまでであれば、2種の原付の免許が必要となります。自賠責、或いはヘルメットの装着といった普通のバイクに乗るのと同じような装備が必要になります。これがない状態で道路を走れば、道路交通法違反ということになりますし、その他の道路に関する法律の違反となります。</p> <p>いわゆる子供たちが足でキックして、乗るような乗り物をイメージされているかもしれませんが、全くそれとは別に、ほぼ原付と一緒にということで、都内では進行しており、こちらの県警の方にも、そのような資料が降りてきています。徐々に、県内でも走行が認められるのではないかと思います。</p> <p>特に、平塚など湘南地区は、都内からの移住者が多いと報道などでやっておりますので、今後便利な乗り物として、海の近くなどで走る可能性はあり</p>

<p>会長</p>	<p>ますが、それに伴った事故の多発化は否めないのかなと考えております。</p> <p>アメリカなどでは、自転車よりもキックボードが多くなってきているようなところもあるようです。気軽に使いやすいことから、日本でも今後増えてくると考えられますので、対策を検討していく必要があるかと思います。</p> <p>タクシーの状況について、何かありますでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>交通政策関係で言うと、引き続き、妊婦さんに対する助成券を出していただいて、利用されることが多いので、今後またどうなるか分かりませんが、そういうものがあると、喜ばれるのかなと思います。</p> <p>現状は、コロナ禍で影響がありましたが、昼間は普通の状態に戻って利用されています。またここで夜の運行は厳しくなってきましたが、昼間は動いていますので、まあまあという感じになっています。</p> <p>ただ、乗務員不足というのが厳しいところかなと思っています。</p>
<p>会長</p>	<p>妊婦タクシーが非常に好評ということですので、ぜひ続けていただければと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>参考でお知らせします。6月から熱中症の関係で、皆さんも苦労されたと思いますが、平塚警察署に交通事故の問合せがある中で、自転車の単独事故が多いという話をしました。単独事故と聞いた時には、もしかしたらひき逃げ事件じゃないかと思って現場に臨場します。実際に行ってみますと、この暑さのせいで、高齢者の方が熱中症で倒れてしまったというケースが、6月からずっと多いです。サイクル&amp;バスライドという話の中で、例えば、高齢者に限らず、炎天下の中を自転車で走って、バス停で長時間待機させるということは、健康上のリスクも非常に高いのかなと思っています。場所の選定についても、交通安全の観点も必要だと思いますが、健康面の配慮もお願いしたいと思います。救急車に運ばれて市民病院とか共済病院に運ばれていったのですが、病院の方も隣接の市町村から、同じような症状の方がずっと救急車で並んで、受け入れられなかったという事例がありました。生命に関することは交通事故のみならず、炎天下の熱中症というの也被考えられると思いますので、その観点も持っていた方が良いのかなと思いました。</p>
<p>会長</p>	<p>ノンステップバス・ユニバーサルデザインタクシーの導入補助は、今のところゼロですが、目標達成できそうな状況でしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>市の方では、この導入に関して補助を用意しています。ただ、実情としましては、昨年度も、中古車でこのユニバーサルデザインタクシーを導入したなど、台数自体の導入は増えているのですが、この補助事業を使わずに、導入されているという事例もあります。新車を導入される際には、ぜひ補助制度ご利用いただければと考えています。</p>

<p>会長</p>	<p>様々な事業を進めていただければと思います。また、神奈川大学移転関連は、今後、バスの便数を地元へ提示するということが、ぜひ、地元の方と連携をとりながら進めていただければと思います。</p> <p>それでは、議題1については終わりということで、議題2その他ですが、いかがでしょうか。</p> <p>(質問無し)</p> <p>これで議事を終了したいと思います。それでは、進行を事務局にお返しします。</p>
<p>事務局</p>	<p>以上をもちまして、令和4年度第1回平塚市地域公共交通活性化協議会を閉会します。次回は各取組の進捗状況と、翌年度の取組内容を、年度末の3月頃に開催させていただきたいと考えております。</p> <p>ご協力ありがとうございました。</p>